

様式第1号(第7条)

特定公共的施設新築等工事届出書

年 月 日

茨城県知事 殿

住 所

氏 名

Ⓔ

電話番号

〔法人にあっては、主たる事務所の所在地
及び名称並びに代表者の職氏名〕

茨城県ひとにやさしいまちづくり条例第18条第1項の規定により、特定公共的施設の新築等の工事の内容について、次のとおり届け出ます。

特定公共的施設の所在地						
特定公共的施設の名称						
特定公共的施設の用途(主なもの)					床面積の合計	m ² (戸)
工 事 種 別		新築 増築 改築 大規模の修繕 大規模の模様替 用途変更				
届出対象建築物の棟別概要	建築物の棟の名称	工 事 種 別	階 数	新築等の部分の床面積	既存の部分の床面積	合 計
				m ² (戸)	m ² (戸)	m ² (戸)
				m ² (戸)	m ² (戸)	m ² (戸)
				m ² (戸)	m ² (戸)	m ² (戸)
				m ² (戸)	m ² (戸)	m ² (戸)
				m ² (戸)	m ² (戸)	m ² (戸)
合 計 (棟)				m ² (戸)	m ² (戸)	m ² (戸)
工事着手予定年月日		年 月 日		工事完了予定年月日		年 月 日
連絡先 (設計者等)	住 所				会 社 名	
	担当者名				電 話 番 号	

- (備考) 1 工事種別欄には、該当するものに○を付けること。
2 床面積欄には、公衆便所にあつては便房数を、共同住宅等にあつては戸数を記入すること。
3 別紙(整備基準への適合状況表)は、棟ごとに記入すること。
4 以下の欄は、記入しないでください。

受付欄	
-----	--

(別紙)

特定公共的施設の整備基準への適合状況表

建築物の棟の名称	棟	階数	地上	階，地下	階
特定公共的施設の用途(主なもの)					

1 出入口		有	無			備考	
(1) 直接地上へ通ずる1以上の出入口	ア 幅は，内のりを80cm以上	有	無	適	否		
	イ 戸は，自動式又は車いす使用者が円滑に開閉して通過できる構造	有	無	適	否		
	ウ 車いす使用者が通過する際に支障となる段差の解消	有	無	適	否		
(2) 駐車場へ通ずる1以上の出入口	ア 幅は，内のりを80cm以上	有	無	適	否		
	イ 戸は，自動式又は車いす使用者が円滑に開閉して通過できる構造	有	無	適	否		
	ウ 車いす使用者が通過する際に支障となる段差の解消	有	無	適	否		
(3) 各室の1以上の出入口	ア 幅は，内のりを80cm以上	有	無	適	否		
	イ 戸は，自動式又は車いす使用者が円滑に開閉して通過できる構造	有	無	適	否		
	ウ 車いす使用者が通過する際に支障となる段差の解消	有	無	適	否		

2 廊下等		有	無			備考	
(1) 表面は，粗面又は滑りにくい材料の仕上げ		有	無	適	否		
(2) 段を設ける場合の措置		有	無				
	ア 手すりの設置	有	無	適	否		
	イ 回り段を設けない	有	無	適	否		
	ウ 表面は，粗面又は滑りにくい材料の仕上げ	有	無	適	否		
	エ 段は，識別しやすく，かつ，つまずきにくい構造	有	無	適	否		
	オ 近接の廊下等及び踊り場への注意喚起用床材の敷設	有	無	適	否		
(3) 直接地上	ア 幅は，内のりを120cm以上	有	無	適	否		

へ通ず る出入 口から 各室の 出入口 までの 1以上 の経路	イ 末端及び50m以内ごとに車いすで 転回可能な部分の確保		有	無	適	否		
	ウ 高低 差があ る場合 の措置	車いす使用者用特殊構造 昇降機の設置	有	無	適	否		
		傾斜路及び踊り場の設置	有	無	適	否		
	傾斜路 及び踊 り場設 置の場 合の構 造	(ア) 幅は、内のりを 120cm(段を併設す る場合は90cm)以上	有	無	適	否		
		(イ) こう配は、1/1 2(傾斜路の高さが1 6cm以下の場合は1 /8)以下	有	無	適	否		
		(ウ) 高さが75cmを 超える傾斜路の踏 み幅150cm以上の踊 り場の設置	有	無	適	否		
		(エ) 手すりの設置	有	無	適	否		
		(オ) 表面は、粗面又 は滑りにくい材料 の仕上げ	有	無	適	否		
		(カ) 踊り場及び廊 下等と識別しやす い措置	有	無	適	否		
		(キ) 近接の廊下等 及び踊り場への注 意喚起用床材の敷 設	有	無	適	否		
エ 出入口等に接する部分の水平の確 保		有	無	適	否			
駐車 場へ通 ずる出 入口か ら各室 の出入 口まで の1以 上の経 路	ア 幅は、内のりを120cm以上		有	無	適	否		
	イ 末端及び50m以内ごとに車いすで 転回可能な部分の確保		有	無	適	否		
	ウ 高低 差があ る場合 の措置	車いす使用者用特殊構造 昇降機の設置	有	無	適	否		
		傾斜路及び踊り場の設置	有	無	/			
		(ア) 幅は、内のりを 120cm(段を併設す る場合は90cm)以上	有	無	適	否		

	傾斜路及び踊り場設置の場合の構造	(イ) こう配は,1/12(傾斜路の高さが16cm以下の場合1/8)以下	有	無	適	否		
		(ウ) 高さが75cmを超える傾斜路の踏み幅150cm以上の踊り場の設置	有	無	適	否		
		(エ) 手すりの設置	有	無	適	否		
		(オ) 表面は,粗面又は滑りにくい材料の仕上げ	有	無	適	否		
		(カ) 踊り場及び廊下等と識別しやすい措置	有	無	適	否		
		(キ) 近接の廊下等及び踊り場への注意喚起用床材の敷設	有	無	適	否		
	エ 出入口等に接する部分の水平の確保	有	無	適	否			
(4) 直接地上へ通ずる出入口から受付等までの廊下等	誘導用床材の敷設及び音声誘導装置等の設置	有	無	適	否			
	その他の措置 ()							
(5) 廊下等に設けられる傾斜路及びその踊り場	ア 幅は,内のを120cm(段を併設する場合は90cm)以上	有	無	適	否			
	イ こう配は,1/12(傾斜路の高さが16cm以下の場合1/8)以下	有	無	適	否			
	ウ 高さが75cmを超える傾斜路の踏み幅150cm以上の踊り場の設置	有	無	適	否			
	エ 手すりの設置	有	無	適	否			
	オ 表面は,粗面又は滑りにくい材料の仕上げ	有	無	適	否			
	カ 踊り場及び廊下等と識別しやすい措置	有	無	適	否			
	キ 近接の廊下等及び踊り場への注意喚起用床材の敷設	有	無	適	否			

3 階段	有	無			備 考	
(1) 手すりの設置	有	無	適	否		
(2) 主たる階段には、回り段を設けない	有	無	適	否		
(3) 表面は、粗面又は滑りにくい材料の仕上げ	有	無	適	否		
(4) 段は、識別しやすく、かつ、つまずきにくい構造	有	無	適	否		
(5) 近接の廊下等及び踊り場への注意喚起用床材の敷設	有	無	適	否		

4 昇降機	有	無			備 考		
(1) 昇降機の設置(平屋以外の建築物で2,000m ² 以上のもの)	有	無					
(2) 昇降機設置の場合の構造	ア かごの床面積は、1.83m ² 以上	有	無	適	否		
	イ かごの奥行きは、内のりを135cm以上	有	無	適	否		
	ウ かごの平面形状は、車いすの転回に支障のないもの	有	無	適	否		
	エ かごの停止予定階及び現在位置の表示装置の設置	有	無	適	否		
	オ かごの到着階及び戸の閉鎖を音声で知らせる装置の設置	有	無	適	否		
	カ かご及び昇降路の出入口の幅は、内のりを80cm以上	有	無	適	否		
	キ かご内及び乗降ロビーに車いす使用者が利用しやすい位置への制御装置の設置	有	無	適	否		
	ク 視覚障害者が円滑に操作することができる構造の制御装置の設置	有	無	適	否		
	ケ 乗降ロビーの幅及び奥行きは、内のりを150cm以上	有	無	適	否		
	コ 乗降ロビーに昇降方向を音声で知らせる装置の設置	有	無	適	否		

5 便所	有	無			備 考		
便所の設置数	男子用 所	女子用 所	共用 所				
(1)	ア 車いす使用者用便所の設置	有	無	適	否		
	イ 便所及び便所の出入口の幅は、内のりで80cm以上	有	無	適	否		

ウ 便房及び便所の戸は、車いす使用者が円滑に開閉して通過できる構造	有	無	適	否		
エ 非常ベルの設置	有	無	適	否		
オ オストメイト対応設備等の設置及びその旨の見やすい方法による表示	有	無	適	否		
(2) 床置き式の男子用小便器の設置	有	無	適	否		

6 駐車場	有	無			備	考	
(1) 車いす使用者用駐車施設の設置	有	無	適	否			
(2) 車いす使用者用駐車施設の構造	ア 建築物の出入口から近い位置に設置	有	無	適	否		
	イ 幅は、350cm以上	有	無	適	否		
	ウ 車いす使用者用である旨の表示の設置	有	無	適	否		
(3) 車いす使用者用駐車施設へ通ずる出入口から車いす使用者用駐車施設に至る駐車場内の通路	ア 表面は、粗面又は滑りにくい材料の仕上げ	有	無	適	否		
	イ 段を設ける場合の措置	有	無				
	(ア) 手すりの設置	有	無	適	否		
	(イ) 回り段を設けない	有	無	適	否		
	(ウ) 表面は、粗面又は滑りにくい材料の仕上げ	有	無	適	否		
	(エ) 段は、識別しやすく、かつ、つまずきにくい構造	有	無	適	否		
	ウ 幅員は、120cm以上	有	無	適	否		
	エ 高低差がある場合の措置	車いす使用者用特殊構造昇降機の設置	有	無	適	否	
	傾斜路及び踊り場の設置	有	無				
	(ア) 幅は、内のりを120cm(段を併設する場合は	有	無	適	否		

傾斜路及び踊り場設置の場合の構造	90 cm) 以上						
	(イ) こう配は, 1 / 12(傾斜路の高さが16cm以下の場合は1 / 8)以下	有	無	適	否		
	(ウ) 高さが75cmを超える傾斜路の踏み幅150cm以上の踊り場の設置	有	無	適	否		
	(エ) 手すりの設置	有	無	適	否		
	(オ) 表面は, 粗面又は滑りにくい材料の仕上げ	有	無	適	否		
	(カ) 踊り場及び廊下等と識別しやすい措置	有	無	適	否		
	(キ) 近接の廊下等及び踊り場への注意喚起用床材の敷設	有	無	適	否		

7 敷地内の通路		有	無	備考		
(1) 表面は, 粗面又は滑りにくい材料の仕上げ		有	無			適
(2) 段を設ける場合の措置		有	無	備考		
	ア 手すりの設置	有	無			適
	イ 回り段を設けない	有	無	適	否	

	ウ 表面は、粗面又は滑りにくい材料の仕上げ	有	無	適	否			
	エ 段は、識別しやすく、かつ、つまずきにくい構造	有	無	適	否			
(3) 出入口から道等に至る1以上の敷地内の通路の構造	ア 幅員は、120cm以上	有	無	適	否			
	イ 高低差がある場合の措置	車いす使用者用特殊構造昇降機の設置	有	無	適	否		
		傾斜路及び踊り場の設置	有	無				
	傾斜路及び踊り場設置の場合の構造	(ア) 幅は、内のりを120cm(段を併設する場合は90cm)以上	有	無	適	否		
		(イ) こう配は、1/12(傾斜路の高さが16cm以下の場合には1/8)以下	有	無	適	否		
		(ウ) 高さが75cmを超える傾斜路の踏み幅150cm以上の踊り場の設置	有	無	適	否		
		(エ) 手すりの設置	有	無	適	否		
		(オ) 表面は、粗面又は滑りにくい材料の仕上げ	有	無	適	否		
(カ) 踊り場及び廊下等と識	有	無	適	否				

		別しやすい措置							
		(キ) 近接の廊下等及び踊り場への注意喚起用床材の敷設	有	無	適	否			
(4) 出入口から道等に至る1以上の敷地内の通路の構造	ア	誘導用床材の敷設及び音声誘導装置等の設置	有	無	適	否			
	イ	注意喚起用床材の敷設	有	無	適	否			
(5) 敷地内通路に設けられる傾斜路及び踊り場	ア	幅は、内のりを120cm(段を併設する場合は90cm)以上	有	無	適	否			
	イ	こう配は、1/12(傾斜路の高さが16cm以下の場合は1/8)以下	有	無	適	否			
	ウ	高さが75cmを超える傾斜路の踏み幅150cm以上の踊り場の設置	有	無	適	否			
	エ	手すりの設置	有	無	適	否			
	オ	表面は、粗面又は滑りにくい材料の仕上げ	有	無	適	否			
	カ	踊り場及び敷地内通路と識別しやすい措置	有	無	適	否			

8 客席		有	無			備 考		
1以上の客席の構造	(1)	奥行きは内のりを110cm以上、幅は内のりを85cm以上の車いす使用者用客席の設置	有	無	適	否		
	(2)	床面の水平の確保	有	無	適	否		
客席への1以上の経路の措置	(1) 出入口の構造	ア	幅は、内のりを80cm以上	有	無	適	否	
		イ	戸は、自動式又は車いす使用者が円滑に開閉して通過できる構造	有	無	適	否	
		ウ	車いす使用者が通過する際に支障となる段差の解消	有	無	適	否	
	(2) 経路の措置	ア	表面は、粗面又は滑りにくい材料の仕上げ	有	無	適	否	
		イ	段を設ける場合の措置	有	無			

	(ア) 手すりの設置	有	無	適	否		
	(イ) 回り段を設けない	有	無	適	否		
	(ウ) 表面は,粗面又は滑りにくい材料の仕上げ	有	無	適	否		
	(エ) 段は,識別しやすく,かつ,つまずきにくい構造	有	無	適	否		
	ウ 幅は,内のり120cm以上	有	無	適	否		
	エ 末端及び50m以内ごとに車いすで転回可能な部分の確保	有	無	適	否		
オ 高低差がある場合の措置	車いす使用者用特殊構造昇降機の設置	有	無	適	否		
	傾斜路及び踊場の設置	有	無	/			
傾斜路及び踊り場の設置の場合の構造	(ア) 幅は,内のりを120cm(段を併設する場合は90cm)以上	有	無	適	否		
	(イ) こう配は,1/12(傾斜路の高さが16cm以下の場合には1/8)以下	有	無	適	否		
	(ウ) 高さが75cmを超える傾斜路の踏み幅150cm以上の踊り場の設置	有	無	適	否		
	(エ) 手すりの設置	有	無	適	否		
	(オ) 表面は,粗面又は滑り	有	無	適	否		

			にくい材 料の仕上 げ						
			(カ) 踊り 場及び廊 下等と識 別しやす い措置	有	無	適	否		
			(キ) 近接 の廊下等 及び踊り 場への注 意喚起用 床材の敷 設	有	無	適	否		
		カ	出入口等に接する部分の 水平の確保	有	無	適	否		

9 洗面所			有	無			備 考	
1以上の 洗面所の構 造	(1) 出 入 口 の 構 造	ア 幅は、内のを80cm以上	有	無	適	否		
		イ 戸は、自動式又は車いす使 用者が円滑に開閉して通過 できる構造	有	無	適	否		
		ウ 車いす使用者が通過する 際に支障となる段差の解消	有	無	適	否		
	(2)	床面は、滑りにくい仕上げ	有	無	適	否		
	(3)	1以上の洗面器及び鏡は、高さ、 け込み等車いす使用者に配慮し た構造	有	無	適	否		
	(4)	1以上の水栓器具は、レバー式 等の操作が容易な構造	有	無	適	否		

10 浴室			有	無			備 考	
1以上の 浴室の構造	(1)	床面は、滑りにくい仕上げ	有	無	適	否		
	(2)	浴槽及び洗い場には、手すりの 適切な設置	有	無	適	否		
	(3)	1以上の水栓器具は、レバー式 等の操作が容易な構造	有	無	適	否		
	(4)	脱衣場を設置する場合は、腰掛 台、手すり等を適切に配置	有	無	適	否		

11 更衣室及びシャワー室		有	無			備	考	
1以上の更衣室及びシャワー室の構造	(1) 床面は、滑りにくい仕上げ	有	無	適	否			
	(2) 1以上のシャワー室に手すりを設置	有	無	適	否			
	(3) 1以上の水栓器具は、レバー式等の操作が容易な構造	有	無	適	否			
	(4) 更衣室には、腰掛台、手すり等を適切に配置	有	無	適	否			

12 客室		有	無			備	考	
1以上の客室の構造	(1) 出入口の構造	ア 幅は、内のりを80cm以上	有	無	適	否		
		イ 戸は、自動式又は車いす使用者が円滑に開閉して通過できる構造	有	無	適	否		
		ウ 車いす使用者が通過する際に支障となる段差の解消	有	無	適	否		
	(2) 床面は、滑りにくい仕上げ	有	無	適	否			
	(3) 車いす使用者が円滑に利用できる十分な床面積の確保及び手すり等の適切な配置	有	無	適	否			
	(4) 車いす使用者が円滑に利用できる便房の設置	有	無	適	否			
	(5) 車いす使用者が円滑に利用できる浴室の設置	有	無	適	否			

13 案内設備		有	無			備	考	
(1) 案内板を設置する場合	ア 高さ、照明、文字、表記方法の高齢者、障害者等への配慮	有	無	適	否			
	イ 点字による表示	有	無	適	否			
(2) 緊急誘導設備	ア 点滅灯又は電光表示板の適切な配置	有	無	適	否			
	イ 一斉放送ができる設備	有	無	適	否			

14 カウンター及び記載台		有	無			備	考	
1以上のカウンター及び記載台の構造	高さ、け込み等に配慮した構造	有	無	適	否			

15 券売機		有	無	適 否		備考	
1以上の券売機の構造	高さ、け込み等に配慮した構造	有	無				
16 改札口及びレジ通路		有	無	適 否		備考	
1以上の改札口及びレジ通路の構造	幅員、高さ等に配慮した構造	有	無				

17 水飲み場		有	無	適 否		備考	
1以上の水飲み場の構造	高さ、け込み等に配慮した構造	有	無				

18 公衆電話台		有	無	適 否		備考	
1以上の公衆電話台の構造	高さ、け込み等に配慮した構造	有	無				

19 授乳及びおむつ替えの場所		有	無	適 否		備考	
(1) 授乳及びおむつ替えの場所の設置		有	無				
(2) 授乳及びおむつ替えの場所の構造	(ア) ベビーベッドの配置	有	無	適	否		
	(イ) いすの配置	有	無	適	否		
	(ウ) その他授乳及びおむつ替えに必要な設備の配置	有	無	適	否		

20 幼児用遊び場		有	無	適 否		備考	
(1) 幼児用遊び場の設置		有	無				
(2) 幼児用遊び場の構造	(ア) 床面及び壁面は柔らかく、なめても安全な材料の仕上げ	有	無	適	否		
	(イ) なめても安全な材料を使用した遊具を保護者の目に届く位置に配置	有	無	適	否		

- (注) 1 備考欄には、否に該当する場合の特別な理由を記入すること。
2 欄には、記入しないでください。